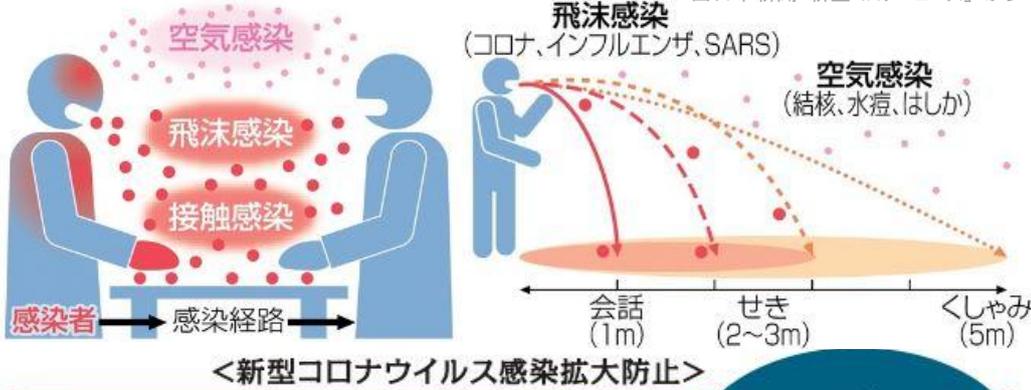


人から人へのウイルス感染のイメージ



新型コロナウイルスの感染拡大がおさまりません。東京や大阪周辺の都道府県には緊急事態宣言が出され、身近なところでも感染者が発生するようになってきましたので、タバコではなくコロナの話をしていきます。

目に見えないウイルスの感染経路は上図にあるように空気感染、飛沫感染、接触感染だとされています。

会話、せき、くしゃみによる飛沫感染を防ぐために必要な距離(ソーシャルディスタンス)を確保した生活をしなければなりません、空気が乾燥する冬場は、飛沫が漂いやすくなるので、一層注意が必要です。

皆さん、通常の日常生活を守るために、くれぐれも油断しないように気をつけて下さい。

産業デザイン科
奥田 恭久

Zero Tobacco Project
In WAKO Since 2005

会話や咳・くしゃみによる飛沫感染を防ぐため、

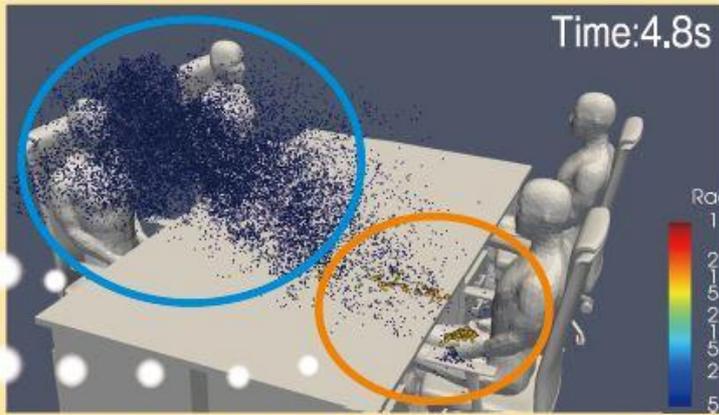
「定期的な換気」と「加湿」が有効です!

12月は
京都市コロナ感染
防止徹底月間

湿度**30%**の場合

注目!

空気中の小さな飛沫(エアロゾル)と、机の上の大きな飛沫



<オフィスでの4人掛け(縦1.4m、横2.4m)、マスクなし、咳をした時のシミュレーション>
(提供:理研・豊橋技科大・神戸大、協力:京工繊大)

湿度30%を60%にするだけで、正面(1.8m先)の人に届く飛沫の数は **半減!**



(提供:理研・豊橋技科大・神戸大、協力:京工繊大)

- ❗ 乾燥するほどエアロゾル(小さな飛沫)は多く発生。それは、長時間空中を漂います。(⇒換気と加湿を!)
- ❗ マスクは、飛沫の飛散・侵入を防ぐために有効。飲食の場でも、会話の際にはマスク着用の徹底を。